

海第十四号の作品について

海のホームページには、「ニュース」等のコラムを設け、海の作品に対していただいた批評や感想等の内容の要旨を掲載し、同人個々の参考になるようにしています。

第十四号（通巻第八十一号）の作品に対しお寄せいただいた感想等の一部（抄）を、左記に掲載させていただきました。
御意見等をいただいた各位（お名前は略）に、心から感謝申し上げます。

◇海へのことば（笹原由理の作品）

・ 共感する。励ましの言葉を送りたい。

◇エッセイの部

赤木健介の作品について

「ある患者の手記 第一回」

・ 丁寧に描かれたノンフィクション。

・ 勇気ある作品である。

井本元義の作品について

「あちらこちら文学散歩」

・ よい文学ガイドである。

・ バリの街の表情を魅力的に伝える。

・ 写真、地図が添えられたらなおよい。

◇詩の部

笹原由理作品について

「かくれんぼ」ほか

・ 短く簡単な吐きに、深い印象を受ける。

・ 豊かなイメージと物語を感じる。

井本元義作品について

「花」

・ 背景にドラマがある。诗情豊かである。

群 青作品について

「いのちのそこにあるもの」

・ 五七調を意図的に用いるなど、情感の豊かさを感じさせる。

・ ひらがなを用いた実験的な手法に、好感を覚えた。

◇詩と画の部

鳥井まみ作品について

「話つ花（五）」

・ ショートショートやコントを読む楽しさがある。才を伸ばしてほしい。

◇翻訳の部

牧草 泉作品について

「種の起源」「街の女マギー」

・ 翻訳という作業は、評価されるべき。

・ 訳文をもう一工夫したら、さらによい。

◇評論の部

原千里作品について

「廣瀬淡窓とその世界 淡窓の師亀井南冥」「廣瀬淡窓と咸宜園」

・ 貴重な文化的資料である。

・ 九州には偉大な先人が多い筈である。

・ こういう作業を継続し、多く、深く掘り起こしてほしい。

◇小説の部

牧草 泉作品について

「ある老婆の話」

・ 語りの文章が巧みである。

・ 老人の切なさや懐かしさが溢れる好短編である。

有森信二作品について

「仮面人形」

・ 作画的でもあるが、内容は濃い。

・ タイトルの工夫が必要である。

◇海の全体について

・ 創作意欲はすごい。多彩な内容である。

・ 種目数が総合誌ほどに多い。

・ 役立つ情報提供にも踏み込んでいる。

・ 個人が複数の作品を発表するというのは、雑駁感が感じられ、真剣味の点でいがかかと思われる。（有森まとめ）